

セブン&アイグループ労働組合連合会  
イトヨーカドー労働組合

# 考動力×機動力

自ら考え行動し、共に目的を遂行できる組織へ

第51回 定期中央大会 議案書

2020年10月2日(金)



# 新時代を拓く。

## 未曾有の危機を乗り越え、 今こそ組織を再建する時代

イトーヨーカドー労働組合 中央執行委員長 渡邊健志

### はじめに

本日、第51回定期中央大会を開催する運びとなりました。節目の50年を終え、次の50年に向けた新たなスタートを迎えることが出来ますのも、U Aゼンセン・流通部門・都道府県支部・部門所属組合・友好労組、内外の役員・OB・OGなど数多くの方々のご厚情とご指導の賜物であると深く感謝を申し上げます。また、これまで50年間良好な労使関係を築くことが出来たのも経営の皆様のご深いご理解とご協力のおかげです。今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。

### 過去、経験したことのない 「コロナ禍による激変時代へ」

私たちを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響により、あまりにも速くそして大きな変化をしており、これまでの社会環境・政治・経済の構造や仕組みなど世の中のすべてのことに多大な影響をもたらしています。そして今後のWithコロナ、ポストコロナ時代の社会においても、様々な変化と共に、次に述べるような新たな社会像・社会的価値観に移り変わっていくことが想定されます。

一点目は、「デジタルシフト」です。AI、位置情報システムを用いた感染リスク通知システムや、テレワーク、定常作業の自動化推進、ロボティクス、物流の無人化、キャッシュレスなどの非接触に対応した技術の活性化と加速的な浸透などが進んでいます。二点目は、「政治体制や国際情勢の変化」です。国家・政府による景気回復のための財政政策や失業者を雇用する国家主導型の経済政策などの取り組みが進んでいます。そして三点目は、「産業構造の変化」です。テレワーク、オンライン授業の継続を踏まえた通信インフラ整備、持続可能な社会の実現に向けた動きや、大量生産大量消費からの脱却によるリサイクル可能な材料や製品の拡大、国内回帰による強固なサプライチェーンの構築、消費動向の変化による中小企業の優勝劣敗などが起こっています。四点目は、「集中型から分散型への変化」です。これまでの工場やオフィスにおける都市一極集中型の働き方から、地域分散・ネットワーク型への転換などが進んでいます。五点目は、「人々の行動変化」です。デジタル化によるリアルとバーチャルの融合や、新たな仕事区分であるリモートワーカーとエッセンシャルワーカーの働き方の変化に伴う課題への対応が求められます。六点目は「環境問題への意識の変化」です。コロナ禍を契機に環境問題の重要性を再認識することとなり、これまで以上に、SDGs（国際社会共通の目標）やESG（環境・社会・企業統治）を意識した経営が求められることとなります。これら、新型コロナウイルスによってもたらされる社会的な変化は、世界や国・企業は無論、所属する労働組合、そして私たち一人ひとりにも大変大

きな影響を及ぼすこととなります。

また、これに加え過去から積み残された課題についても真正面から臨み解決していかなければなりません。経済環境はより一層厳しさを増し、多くの産業や企業では生き残りをかけた構造改革への取り組みや、リストラ・合理化といった人員削減、企業統合などが次々に発生しています。このような環境の中、私たちは誰のためでもなく、自分達自身のために、お客様に支持される企業づくりに真剣に取り組んでいく必要があります。「変化への対応」を考える時、何より大切なことは今一度原点そして基本に立ち返ることです。企業の基本は「社是」にあり、労働組合の基本は「綱領」にあります。労使双方が、原点となるこれらの基本を大切にしていくことを忘れてはなりません。また同時に「変化はチャンス」でもあります。世の中や社会の変化が生活環境に影響を与えることで、新たなお客様のニーズが生まれてきます。ここが「ビジネスチャンス＝商売チャンス」です。言い換えれば変化に気づくことが出来なければ成長や発展をする機会を失うこととなります。今は大きな変化の時代です。大きな変化は私たちが大きなチャンスを掴む機会でもあるのです。経営の神様と言われる松下電器産業（現：パナソニック）の創業者である松下幸之助氏は、厳しい経営環境に対峙した際「不況またよし（不況こそ改善・発展へのチャンスであるという前向きな発想から新たな道が開けてくる。）」や「原点にかえて志を堅持する（不況時こそ改めて原点にかえり、基本方針に照らして進むべき道を見定めよ。そこから正しい判断も生まれ、断固とした不況克服の勇氣と力が湧いてくる。）」とし危機を乗り越えてきました。今まさに未曾有の危機を乗り越えていかなければならない私たちには、このような考えや気概が必要なのだと思います。

### これからの労働組合に求められること、 新組織でめざす「新たな組合づくり」

今、私たちは「I Yの再建」に向けた事業構造改革に着手し、その取り組みを進めてはいるものの、新型コロナウイルスの影響から今後、当初計画していた構造改革の計画修正を余儀なくされています。「当初の計画通り進めるもの」、「微修正が必要とされるもの」、「当初の計画から外すもの」、「新たに追加するもの」といったように、4つの視点での見直しが必要とされています。事業構造改革委員会にて、スピード感を持って「新たなI Yづくり」に向けた総合的な改革の取り組みを進めていくこととなりますが、その方向性や考え方の基本は「今までのやり方を否定し人の雇用や働き方、店舗・商品などの資産、投資・諸経費コストといった切り口から、抜本的な企業の体質改善を図ること」にあります。企業がこういった状況にある中、労働組合もこれまでの体制や仕組みから脱却し環境変化に対応した「将来に向けたあるべき体制づくり」に取り組んでいかなければなりません。組合結成以降、これまでも企業の成長や発展に対応すべく組合の組織体制や活動内容もその変化に対応してきました。新たな船出の年であり、大きな転換をしていくべき2021年度を改革初年度と位置づけ「考動力×機動力～自ら考え行動し、共に目的を遂行できる組織へ～」を活動スローガンに「I Y労働組合改革」をスタートしていきます。企業内に存在する組織である以上、企業別労働組合と企業の組織体質や課題は同様です。労働組合も抜

本的な組織や活動の見直しに着手していきます。そして、その方向性は「組織」・「意識」・「活動」といった総合的な視点で、すべての角度や分野から見た取り組みとして「I Y VISION 2025」と連動した中で「明確な役割、責任ある行動、不断の実行」により実現をさせていきます。

また今年度は、これからの「Withコロナ時代」を通じて、イトーヨーカドー労働組合として継続性を持って取り組んでいく活動として「I Yファミリー・地域と共に」というテーマを掲げ新たな活動に挑戦していきます。その目的は、当面続くと思われる新型コロナウイルスとの共存社会という現実を前向きに捉え「新たな生活様式」を受け入れた組合活動を通じてイトーヨーカドー労働組合の基本的な考え方を改めて醸成していく事にあります。私たちの商売は、地域のお客様の支持がなければ成り立ちません。また「生活の支えとなる給料は、お客様から頂いている」という考え方も、商売の原点として変わることはありません。2021年度は活動の基本や原点に立ち返るとともに、新型コロナウイルスとの共存社会という新たな環境下に対応できる体制や仕組みづくりに取り組んでいきます。

### 活動の原点 「コミュニケーションの充実」と 「3つの活動への挑戦」

労働組合は「会話と対話」を大切に、これまでも諸活動に取り組んできました。激変する時代環境の中、一つひとつの活動をより充実させ成果に結びつけていく為にも活動の原点と言える「コミュニケーション」の重要性を理解し高めていく必要があります。これは仕事や商売をする上でとても大切なことです。コミュニケーションは、自分の思いや考えを語り合うだけでなく、言葉以外の文字や視覚・聴覚を媒介して訴えていくものです。その目的は、自分の考えを分かり易く相手に伝え理解・納得してもらい物事を進め、より早く確実に成果に繋げることにあります。これから訪れようとしているWithコロナ時代は、これまでのコミュニケーションスタイルや機会に変革をもたらしていきます。この変革に対応し、より機能的な組織運営を可能なものにしていくためにも環境変化に応じた新たな仕組みやシステムを取り入れていくことが求められます。今年度は労働組合が過去から大切にしてきた会話や対話の形を守りながらも、新たにデジタルツールを導入し、WEBやリモートを活用した職場の声や意見の集約、意思決定や情報の共有に取り組んでいきます。また、新システムを活用した自己啓発の機会づくりにも挑戦していきたいと考えています。個々の成長が組織の成長には欠かせません。今年度は、組合組織のリーダーである組合役員への学びの機会として「ユニオン・ウェビナー」をスタートさせ将来的には全体に拡大していけるよう準備を進めていきたいと思います。このような活動環境の整備を行いながら「問題意識を持った活動」、「魅力や価値を生み出す活動」、「組合員に近づく活動」といった、3つの活動に挑戦していきます。問題意識を持つことは、改善行為や組織を堅持することに繋がります。魅力や価値は、組織に活力を創出させ成長や発展を促すことに繋がります。また組合員に近づくことで「課題の本質や現場の実態」を正しく認識することが出来ます。いずれの活動もI Yを再建していくために欠かすことの出来ないものだと思います。

1. 「涸れた井戸から水は汲めない」～I Yの再建を果たし雇用と労働条件を守る
2. 「組合員による組合員のための組合活動」～自分たち自身の手で職場を守る
3. 「皆は一人のために一人は皆のために」～地域や組織が互いに助け合う協同精神

1. 「問題意識を持った活動」～改善行為や組織を堅持することに繋がる
2. 「魅力や価値を生み出す活動」～組織に活力を創出させ成長や発展を促す
3. 「組合員に近づく活動」～課題の本質や現場の実態を正しく認識できる





## 企業を再建させ、共に新時代を拓こう

イトーヨーカドー労働組合が結成から今日まで大切にしてきたことは、生産性三原則をベースとした「潤れた井戸から水は汲めない」という考え方です。「健全な経営基盤」が会社の持続的な成長を促すと共に、私たち組合員へ幸福をもたらす事に繋がります。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり産業・業種を問わず、M&AやTOBなどの企業の合併・買収や事業縮小・構造改革など取り巻く環境はより厳しさを増しています。私たちIYもGMSとしての価値が問われています。これに加え、自然災害などへの危機管理対策やSDGs（国際社会共通の目標）やESG（環境・社会・企業統治）といった社会や環境を意識した経営など、これら一つひとつに対応していかなければ生き残れない時代です。私たちは、今後も益々加速化する「変化」にきちんと「対応」していく事と同時に、中期経営計画で示した「構造改革」を通じて「IYの再建」を果たしていかなければなりません。

この変化に対応していく過程には、個人にとって厳しい判断をせざるを得ない事や納得し難い内容も出てきます。この難局を乗り越えていくためにも、これまで以上にあらゆる階層や機会を通じた労使の事前協議と労使協働での生産性向上に繋がる取り組みが不可欠です。労使協働では課題の本質の見極めと改善に向けた建設的な話し合いを大切にしていきたいと考えています。また生産性向上に繋が

る労使協働の取り組み「改善＝工夫」運動を通じて、一人ひとりの工夫や提案とその事を認め褒める風土や、目標を掲げ愚直に取り組んでいく風土（IYの意識風土改革）を築き上げていけるよう継続的に取り組んでいきます。健全で永続的な労使関係づくり「事前協議と労使協働の取り組み」は欠かせないものです。厳しく難しい判断や対応が求められる環境にあるからこそ労使双方の立場と役割を果たすことで「再建」を成し遂げていけると信じています。また、企業労使間では解決することのできない社会的課題については、上部団体（UAゼンセン、セブン＆アイグループ労働組合連合会）との連携を図り、多くの組合員の協力のもと「政治活動」を通じて解決を目指してきました。UAゼンセンは、2022年7月施行の第26回参議院議員選挙（比例代表）の組織内候補予定者に現職の「かわいたかのり」組織内参議院議員の推薦を決定しました。かわい議員は、これまで雇用・労働・社会保障など私たち働く者の生活に関わる厚生労働分野などで政策実現を着実に推進してきました。また、新型コロナウイルス対策でも働く仲間の雇用保持・安全確保のために「田村まみ」組織内参議院議員と共に国会で活躍されています。今年度は私たちの政策・制度要求の実現に向け支援の輪を広げていくための活動に取り組んでいきたいと思ひます。引き続き組合員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

＝健全で永続的な労使関係づくりに不可欠なもの＝

◎あらゆる階層や機会を通じた、労使の事前協議の実施

◎労使協働による「改善＝工夫」運動を通じた、生産性向上・意識風土改革

## 「変わらなければ、変わらない」

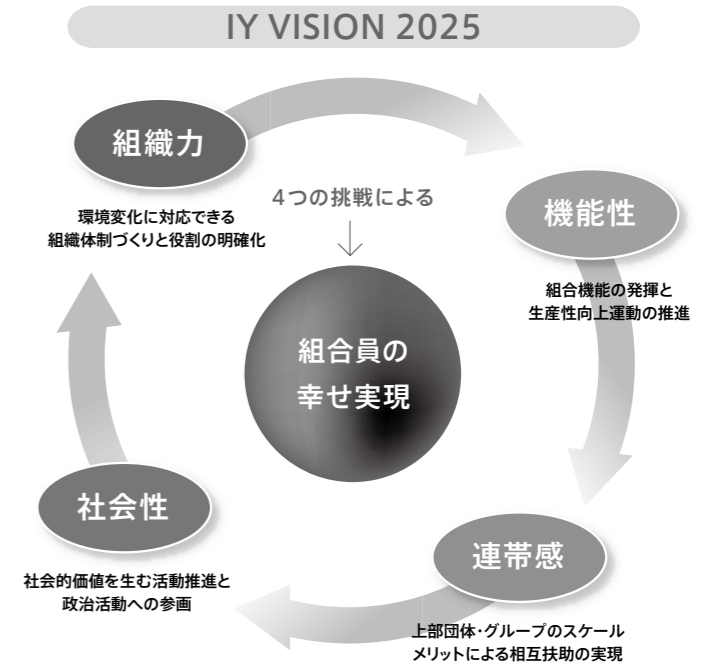
すべての出発点は自分である。自分が変わるとは、自己変革、自己改革することである。自分の「考え方が」「意志が」「行動が」「姿勢が」「店舗が」変わらなければ、変わらない。仕事やビジネスだけでなく個々の生活の中でも、自らを反省し変えようという強い意志を持たない限り、明日もまた同じことの繰り返しになる。

堀 昭彦著書「リーダーへの伝言～すべては、長の志から始まる～」より

## 第1号議案 IY VISION 2025

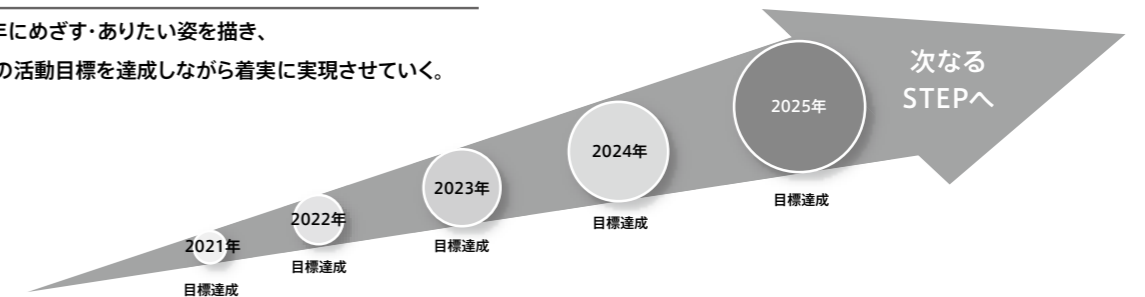
私たちイトーヨーカ堂は、地域のお客様の安定した日常生活のために、商品とサービスを提供し生活向上に寄与する産業であり、非常時・災害時においては、重要なライフラインの役割も果たしています。これらを踏まえ、企業がより成長・発展していくためには、社会に貢献している自覚と自負を持ち、今後より一層、社会的な存在価値と付加価値を高めていく必要があります。

労働組合としても、IYが地域社会やお客様の支持を受け社会的存在意義を高めていけるように、健全な労使関係のもと魅力あるIYの実現と発展に向けて、4つの挑戦をもとにした「一支部一組合の確立＝企業別労働組合の確立」を中期目標として設定したうえで、その先にめざす永続的なありたい姿「組合員の幸せ実現」を目指し、5ヵ年計画の中で実施すべき具体的な活動と達成すべき目標（数値）を掲げ、計画性をもって取り組んでいます。



## 5ヵ年計画のもと取り組みを進めていく

2025年にめざす・ありたい姿を描き、単年度の活動目標を達成しながら着実に実現させていく。



## 4つの挑戦に取り組んでいくための項目別の「具体的な方針」

### ①【組織力を高める】環境変化に対応できる組織体制づくりと役割の明確化

- ◎組織内拡大による組織率の向上・過半数代表組織の確立をめざす
- ◎すべての支部が労働組合としての機能を発揮できる体制・組織づくりを果たす
- ◎労働組合の将来を担う次世代役員の発掘と育成に取り組む
- ◎組合員構成の大部分を占めるパートナー組合員の活動への参加拡大およびダイバーシティ推進を図る

### ②【機能性を高める】組合機能の発揮と生産性向上運動の推進

- ◎階層別の事前労使協議の定例化と団体交渉を通じた経営参画をより深化させる
- ◎流通・社会水準への到達をめざした労働諸条件の向上に取り組む
- ◎パートナー組合員、ダイバーシティに関する政策面・広範囲の活動を強化する
- ◎生産性向上に繋がる労使協働での取り組みを組織全体に浸透させる

### ③【社会性を高める】社会的価値を生む活動推進と政治活動への参画

- ◎社会的課題の解決に結びつく、新たな価値やニーズに対応した活動を推進する
- ◎新たなIY活動・社会貢献活動を通して社会や地域とのネットワークを広げる
- ◎政治委員会「ゆたかな明日を築く会」を通じた、政治活動の日常化と関与意識の醸成を図る
- ◎政治委員会「ゆたかな明日を築く会」会員拡大に向けた活動に取り組む

### ④【連帯感を深める】上部団体・グループのスケールメリットによる相互扶助の実現

- ◎環境変化とニーズに対応した、新たな福利厚生事業を確立させる
- ◎イトーヨーカドー労働組合O・B・O G会「IYプレミアムメンバーズ」の会員拡大に向け挑戦する
- ◎組合員の活力・生産性向上といった組織の活性化につながる健康経営との協働に取り組む
- ◎自・公・助を支えるライフサポートの充実化を図る

## IY VISION 2025の実現に向けた4つのプロジェクト

IY VISION 2025の実現に向けて、リモート会議を活用しながら毎月開催しプロジェクト運営を行っていきます。

プロジェクト	5年間で実現させる「挑戦」
①組織改革プロジェクト	【組織力を高める】環境変化に対応できる組織体制づくりと役割の明確化
②働き方改革プロジェクト	【機能性を高める】組合機能の発揮と生産性向上運動の推進
③社会貢献・政治活動推進プロジェクト	【社会性を高める】社会的価値を生む活動推進と政治活動への参画
④ライフサポート推進プロジェクト	【連帯感を深める】上部団体・グループのスケールメリットによる相互扶助の実現

※プロジェクトメンバー：中央執行委員

活動スローガン

考動力×機動力～自ら考え行動し、共に目的を遂行できる組織へ～

2020年度は、イトーヨーカ堂の事業構造改革の発表に始まり、セブン&アイHLDGS.による首都圏食品SM事業戦略の方針に伴う新事業会社(株)ヨークの立ち上げなど、会社が大きな転換期を迎えた年となりました。また、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、感染拡大防止措置として緊急事態宣言が発出されたことを発端とする自粛ムードの蔓延は、経済に大きな打撃を与えたと同時に新しい生活様式を生みだし、予測できない変化が起こり続けるニューノーマル(新常态)時代への突入を否応なしに迎えました。

ニューノーマル時代を乗り越えていくために必要となるのは、状況変化に対して何をどのようにすればよいか常日頃から私たち一人ひとりが考え、その計画に対して組合員同士が連携してスピーディーに行動していくことだと考えます。言い換えれば、私たち一人ひとりの「考動力=自ら考え行動する力」と、組織全体における「機動力=人を巻き込み連携のもと行動する力」が、労働組合の活動においても求められているのです。

組合員一人ひとりの活動への参加・参画をもとにした「一支部一組合の確立」

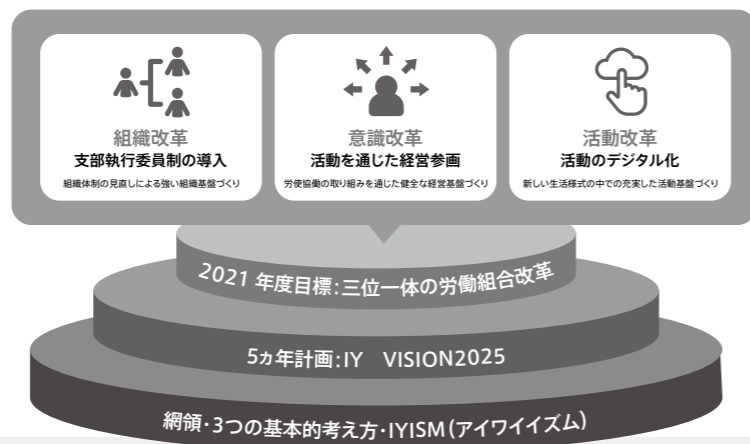


2021年度は、「考動力と機動力」を発揮できる「一支部一組合の確立」に向けて、2Wayコミュニケーション(双方向による会話・対話)による連携強化をベースに「三位一体の労働組合改革」に取り組んでいきます。先述した通り世の中は私たちの生活や仕事も含め大きく変わりつつあり、そのような中で労働組合の活動についても、その変化・変更を余儀なくされています。労働組合のあるべき姿を新しい世界に向けて総合的な視点から見直し、「組織」「意識」「活動」の「三位一体の労働組合改革」を遂行していくことで「考動力と機動力」が発揮できる「一支部一組合の確立」を目指します。

実現に向けた3つの改革

三位一体の労働組合改革

今年度を新型コロナウイルス感染症との共存活動(Withコロナ)を確立していく1年に据えながら、過去から大切にしてきた「綱領」「3つの基本的考え方」「IYISM」を基軸として、「IYVISION2025」で取り組む4つの挑戦のもと、「組織」「意識」「活動」における「三位一体の労働組合改革」を遂行し、「変化に対応できる強い組織(労働組合)」を実現していきます。



- 《綱領》
- 一、私たちは、健全中立なる民主的組織を確立し、労働生活諸条件の向上と文化生活的増進をはかります。
  - 一、私たちは、全組合員の世論を集め、これを経営に反映させることを推進いたします。
  - 一、私たちは、要求の実現において、経営者との利害対立には団体交渉による解決を重視して行動します。
  - 一、私たちは、技術の開発、識見の啓発に努め、もって人格の向上をはかります。

《3つの基本的考え方》

1. 涸れた井戸から水は汲めない
2. 組合員による組合員のための組合活動
3. 皆は一人のために一人は皆のために

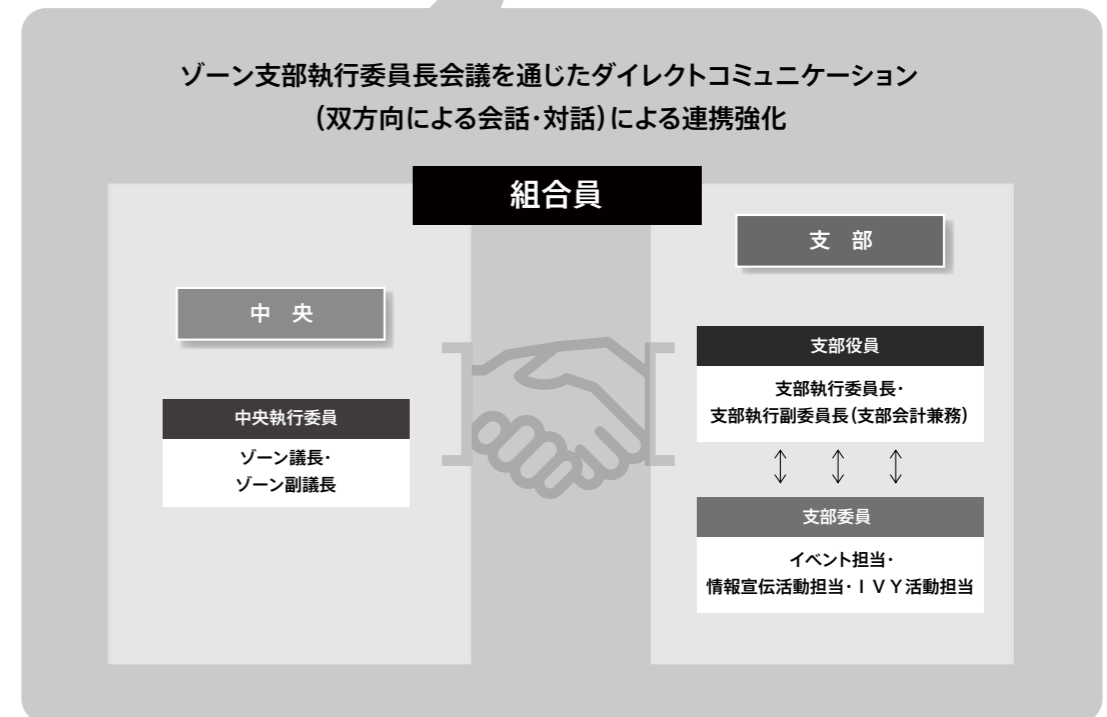
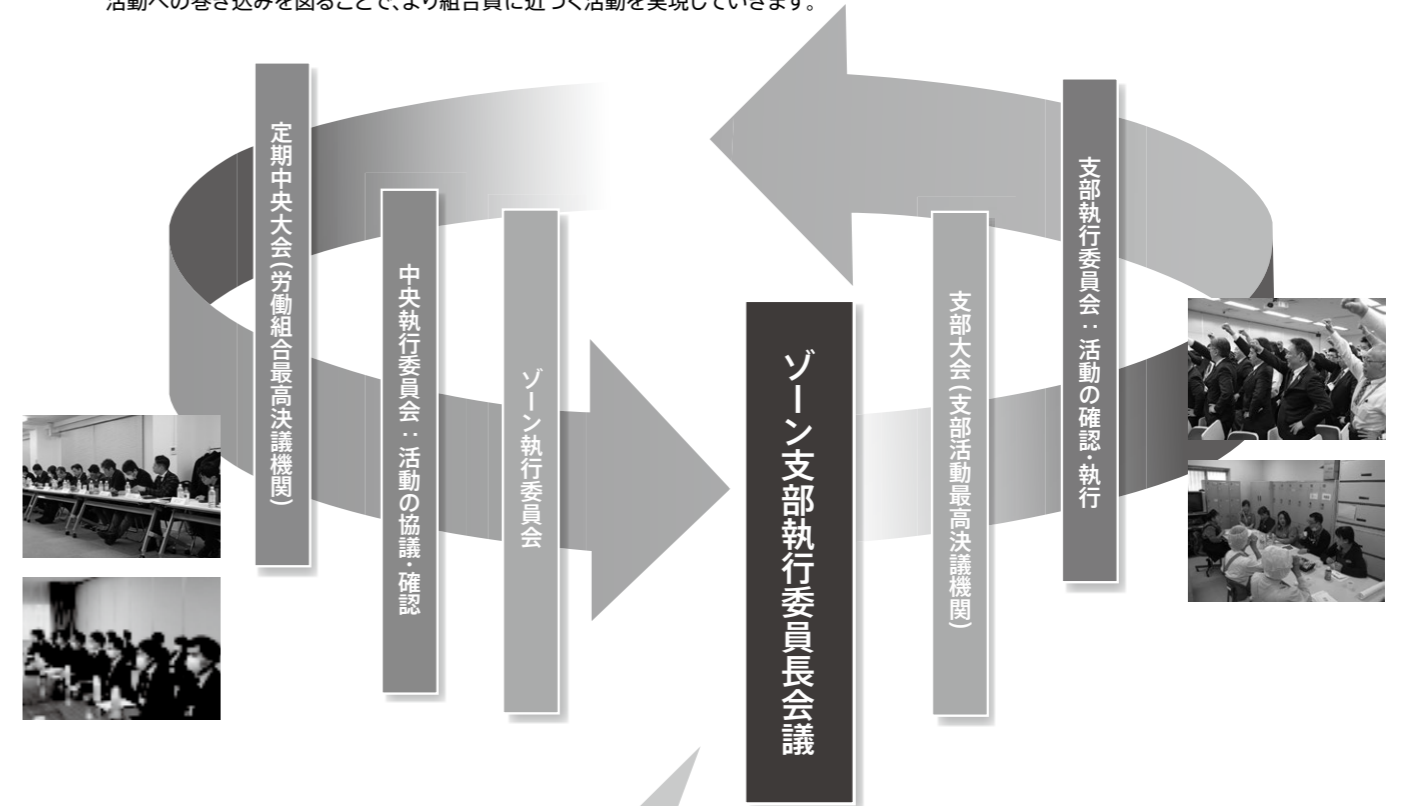
《IYISM(アイワイイズム)》

I = 挨拶(あいさつ)「挨」は相手に心をひらくこと。「拶」は相手に近づくこと=礼儀  
S = 躰(しつけ)自分の身を美しく見せるという意味。自身を愛すること=自信  
M = 身嗜み(みだしなみ)容姿・服装・言葉遣い・態度を正すこと=心掛

私たち労働組合の根幹をなす「組合員の意思」を活動に反映していくためには、組合員一人ひとりが活動に参加・参画する「一支部一組合」の組織基盤をもとにした、労働組合という組織全体の連携が重要です。

「一支部一組合の確立」をもとに強い組織基盤を実現していくためには、中央・支部それぞれが共通した認識をもち、互いに連携をとりながら活動を執行していくことが重要です。そこで、中央執行部と支部執行部とがスピード感をもってダイレクトにコミュニケーションを取ることができるような運営体制とすることで、中央と支部の連携をより深め一体となって活動に取り組んでいくことを目指します。

また今年度を通じて、これまでの支部代表委員長制から「支部執行委員制」として支部の体制の見直しを図っていきます。支部活動における決定力・実行力・機能性を高め、連携しながら一つひとつの活動を「確実に執行」していくことで「一支部一組合の確立」を目指します。さらに、支部執行委員をフィールド組合員・パートナー組合員にも担っていただき、フィールド組合員・パートナー組合員の活動への巻き込みを図ることで、より組合員に近づく活動を実現していきます。





IY再生に向けて会社が掲げた事業構造改革を企業の成長・発展につなげるためには、それを実行していく私たち一人ひとりの意識改革も大変重要となってきます。なぜなら「涸れた井戸から水は汲めない」の考え方にもある通り、企業が利益を生み出すことは労使双方にとって利害関係が一致していることだからです。現状は良くない、何かを変えなければと思いつながら、自分に関わることになる大幅な改革には反対し、自らは何も失わない変更だけを求めるのではなく、「事前労使協議」による経営とのコミュニケーションを通じて、労使における最善策を導き出し、その施策に愚直に取り組んでいくことが今後より重要となってきます。

今あるものを違うものへ変化させるということは、「今までこうだった」という前例に倣わず、自らの意識改革によって変えていく必要があります。意識改革と言うと非常に難しく感じられますが、置かれている環境や物事を正しく理解して状況を把握し、基本の考え方をしっかりと持って対応するというところに他なりません。一人ひとりが自らの意思でより良い職場環境、働き方、生産性の向上に向けて行動する風土を醸成することで変化に対応できる強い組織となることを目指し、これまでの活動を深化させていきます。



### 1. 「事前労使協議」を通じた経営とのコミュニケーション

正しく経営がされているのかという経営チェック機能、また現場の実態や組合員の声をベースとした会社との対話の場として、大切にしてきた「事前労使協議」。日頃から問題意識や課題に対する改善提案を持ち、事前に話し合うことで、労使対等の立場による健全な話し合いの場としての「事前労使協議」が成り立つという共通認識をもち「支部・ゾーン・部別(本部)・中央」の労使協議を行います。

### 2. 労使双方の共通認識を基軸とした労務管理の徹底

長時間労働の是正や多様化する働き方への対応、より良い職場環境づくりに向け、働く側(労働組合)とそれを管理する側(会社)である「共通の認識」を持ち、安全衛生委員会や就業確認会の場を通じて、取り組んでいます。

### 3. 「改善＝工夫」運動を通じた意識・風土づくり

一人ひとりが職場での「ムリ・ムダ・ムラ」への改善行為を日々の仕事として取り入れていく環境づくりと、その内容や行為に周囲が関心を寄せて褒めることで、お互いに高め合うことのできる意識・風土づくりを目指した「改善＝工夫」運動に、さらに踏み込んで労使協働で継続して取り組んでいます。

### 4. 労働組合結成 50 周年記念事業「提案グランプリ」を通じた経営参画

「ムリ・ムダ・ムラ」の改善に繋げていくための日々の取り組みである「改善＝工夫」運動は継続性を持って取り組んでいますが、今回実施する労働組合結成50周年記念事業「提案グランプリ」では、イトーヨーカ堂に働くすべての社員から、商売に関するあらゆる視点において、クリエイティブな発想から生まれる提案を広く募集していき、企画内容については、会社との話し合いや協議を踏まえ実現・表彰をしていきたいと思えます。



新型コロナウイルス感染症の影響から、日常生活のあらゆる場面において「新しい生活様式」に対応した行動が求められ、今後もしばらくは、新型コロナウイルス感染症と共存しながらの生活(W i t h コロナ)を送っていかねばならないことが想定されます。感染拡大防止の観点から3密を避けるなど、これまで通りの人と人との直接的な触れ合いが困難とされている一方で、デジタル技術の活用は飛躍的に拡がり、今ではリモートでの会議や交流が一般的になりつつあります。

労働組合においても新型コロナウイルス感染症との共存活動(W i t h コロナ)の確立と共に、これまで大切にしてきた3つの基本的考え方を基軸に、これまでの活動や取り組みに対する在り方を変えながら新たな活動を創り上げていきます。また、この様な時だからこそフェイス t o フェイスのコミュニケーションや仲間同士のつながりを感じられる活動を可能な限り大事にしつつ、これまでの活動とのハイブリッドな取り組みの検討や、新たな活動の可能性を広げることに挑戦し、活動の充実化を図っていきます。

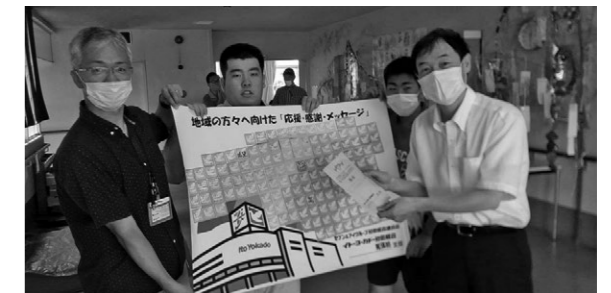
### 1. デジタルツールを活用した新たなコミュニケーションチャンネルの創出

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置から、多くの人が集まり話し合う場を作ることなどが困難な状況が続いており、2W a yコミュニケーション(双方向による会話・対話)の在り方について、検討していく必要があります。W i t h コロナによるデジタル化の波を好機と捉え、全支部へ i P a dを導入し、デジタルツールを活用したコミュニケーションチャンネルを増やすことで、より円滑な2W a yコミュニケーション機会の創出に挑戦します。



### 2. 新たな活動を通じた3つの基本的考え方の醸成

「IYファミリー・地域と共に」というテーマのもと2020年度より取り組んだ活動は、組合活動の原点である「一支部一組合の確立」や、地域への社会貢献を通じた社会的価値の創造に繋げていくものでもあります。今年度も、「組合役員が職場の声や意見を受け、話し合い内容を決定し、一致団結して全組合員に拘わりを持つ」事を実現できる活動として、継続性をもって取り組んでいます。



### 3. セブン＆アイグループ労働組合連合会に集う仲間との連携強化

コロナ禍において地域のお客様や社会に対して役立てるような価値を提供できることが、企業の社会的価値としてこれまで以上に求められる中、セブン＆アイHLDGS.に集う企業の仲間たちとの連携は必要不可欠です。セブン＆アイグループ労働組合連合会と連携した活動を通じてグループに集う他の労働組合の仲間との連携を強化し、グループ全体で社会的価値の創造につながるような組合活動に取り組んでいます。



四役



中央執行委員長(専従)  
**渡邊 健志**

「変わらなければ変わらない」労組改革による新たな組合づくりの実現と、労使協議を通じた経営計画に取り組みます。



中央執行副委員長(専従)  
**千代田 祐樹**

新たな時代に向け、創造と挑戦の年。“考動力”を大切に活動に取り組んでいきます。共に頑張りましょう!



中央執行副委員長(専従)  
**佐藤 洋一**

激変する環境下、未来を創るのは、組合員一人ひとりの声と行動です。私たちの幸せ実現に向け共に頑張りましょう。



中央執行書記長兼中央会計(専従)  
**竹内 宏子**

基本の考え方を大切に「考動力と機動力」を発揮して、皆にとって意義ある労働組合と一緒に創っていきましょう。



中央執行書記次長(専従)  
**中川 勇樹**

厳しい環境だからこそ、変化へ対応するための風土改革に挑戦します。共に新時代を拓きましょう!

中央執行委員 (五十音順)



上板橋支部・婦人M

**浅見 大貴**

組合員との対話を大切に、皆さんがより楽しく安心して働ける職場づくりを目指していきます。



青森支部・肌着M

**阿部 真由美**

コロナ禍で大変な日々ではありますが、こんな時だからこそ労使一丸となり、一つひとつできることを頑張っていきます。



ライフスタイル衣料支部・衣料雑貨部SV

**安部 喜雄**

新生活様式に対応した新しい組織・今年度の活動を皆さんと一緒に取り組んでいきます。



専従

**池田 宜生**

新たな生活様式、環境変化に対応しながら一支部一組合の確立に向け、支部活動の推進、労使で課題解決に努めます。



木場支部・加工食品M

**井口 隆之**

ニューノーマル時代の組合活動の在り方を皆さんと一緒に考え、その活動が成果に結び付くよう尽力して参ります。



食品支部・デリカ部惣菜担当SV

**今満 直樹**

「明るく!楽しく!職場環境を」本部/店共に新しい生活様式に合わせた職場環境改善にむけて全力で取り組みます。



市原支部・催事担当

**岩本 昌秀**

大きく早い時代の変化の中、働く組合員の大切にしてほしいに寄り添い、共感する心を大事に活動していきます。



上尾支部・惣菜M

**薄井 傑**

現場の声や課題をスピーディーにより具体的に中央に伝え、労働環境改善と支部活動の活性化に注力します。



加古川支部・デイリー食品M

**内山 聡**

地域の組合員の皆さんと一緒に、笑顔あふれる職場になるように一支部一組合を目指していきます。



専従

**宇野 典孝**

変化する環境の中、基本の考えを大切に「考動力と機動力」を発揮し、「一支部一組合」の確立ができるよう取り組みます。



営業・管理支部・RE・VMD部M

**大嶋 光幸**

新常态時代に対応した一支部一組合の確立で、IY再生、ワーク・ライフ・バランス実現ができるよう頑張りましょう。



柳津支部・デイリー食品M

**大西 宏司**

活動の原点「コミュニケーションの充実」を常に考え地域の組合員の皆さんと共に考え行動し頑張ります。



アリオ柏支部・ホーム&キッチンM

**大橋 憲二**

予測出来ない環境変化が起こる中、皆様とのコミュニケーションを図り一支部一組合の確立を目指して活動に取り組めます。



専従

**大場 ももこ**

大きく環境変化が続く中、基本は大切に多様な視点で「一支部一組合」一人ひとりの声を聞き、新たなIY/組合づくりを目指し、活動をしていきます。



営業・管理支部・販売事業部

**鬼沢 克彦**

「一支部一組合」を確立させる為に組合員一人ひとりの声を聞き、新たなIY/組合づくりを目指し、活動をしていきます。



日立支部・子供ワールドM

**岸田 康史**

新しい環境に合わせて知恵を絞り、「一支部一組合」の確立に向けて各支部の皆さんが活動しやすいう環境づくりに努めます。



武蔵境支部・子供ワールドM

**小松原 勇二**

一支部一組合の強化に向けて組合員一人ひとりの声を集約し活動へ反映できるように取り組んでいきます。



深谷支部・デイリー食品M

**小室 渚人**

組合活動も新時代に合わせて変化が必要な時代だと思います。皆さんの声を聞き、新しい組織を作りたいと思います。



川崎町支部・青果M

**坂井 剛**

現場で起きている問題・課題に対し真摯に向き合い働く仲間たちの声を中央に届け、少しでも改善できるように活動して参ります。



鷺宮支部・ヘルス&ビューティM

**佐久間 和正**

労使で最大の利益実現のために前例主義・既成概念に捉われぬ新しい時代の発想・改革で笑顔で働ける会社を実現します。



国領支部・ネットスーパーM

**佐藤 誠**

新しいスタイルの活動を通じて支部の声、課題を集めていきます。労使一丸となって厳しい状況乗り越えましょう。



営業・管理支部・販売事業部

**佐藤 公則**

厳しい時代に入り動き方の変化や環境が変わる中、支部のコミュニケーションを図り、一人ひとりの声を大事にしています。



刈谷支部・鮮魚M

**佐保田 親徳**

環境変化と現場実態を正しく認識したうえで、支部活動をサポートし一支部一組合の実現・組織力の強化を目指します。



専従

**鈴木 佳祐**

IY VISION2025の実現に向け、新たな組織体系やICTを活用し、活動を推進します。宜しくお願い致します。



川口支部・商品管理M

**鈴木 康生**

新時代へ向けて新しく正しい組合活動に取り組み、より良い未来に繋げましょう。



営業・管理支部・営業業務部

**関 洋亮**

お店・本部ともに変化の激しい大変な時期ではありますが、IYのV字回復達成の為、労使一丸となって頑張りましょう。



専従

**田中大樹**

日々変わる環境を正しく捉え、組合員一人ひとりが考え、行動することで未来を切り拓いていきましょう。



横浜・新宿富久 精肉M

**永野 健太**

労働組合と会社がコミュニケーションを密に取り一人ひとりが働きやすい職場環境を作っていくよう取り組んでいます。



亀有支部・催事M

**南原 貴志**

現場の意見を反映できる組織を目指し、変化する時代の中、生き残れる会社になりたいと思います。



藤沢支部・惣菜M

**新岡 啓通**

お店で働く人の声を聞き、より働きやすい職場環境になるよう声を届けて改善していきます。



ライフスタイル衣料支部・子供ワールドMD

**二宮 崇**

世の中の変化に合わせて、組合活動の仕方も変えていきます。まずはデジタル化の推進による地球環境に優しい活動を進めます。



セブン&アイ支部・セブンカードサービス

**橋本 友**

厳しい環境下、労働組合の活動を通して、働く仲間たちの生活に資する働きを、感謝に満ちた参ります。



能見台支部・商品管理M

**服部 正之**

コロナとの共存が強いられる中、組合員一人ひとりが行動を促すことで、強い組織づくりを目指していきましょう。



横浜・加倉橋貨部SV

**平山 孝司**

コロナ禍の中、組合活動も新しい対応が必要で、一人ひとりのコミュニケーションを大切に活動に全力でサポートします。



葛西支部・デイリー食品M

**福井 裕二**

厳しい環境の中、組合員がやりがいをもって活動に取り組んで行く為にコミュニケーションを軸に活動してまいります。



甲子園支部・サービスカウンターチーフ

**福島 裕美**

コロナ禍の中、今までのような活動ができませんが、組合員の皆さんとの対話を大切に、新たな活動をしていきます。



市原支部・催事担当

**岩本 昌秀**

大きく早い時代の変化の中、働く組合員の大切にしてほしいに寄り添い、共感する心を大事に活動していきます。



上尾支部・惣菜M

**薄井 傑**

現場の声や課題をスピーディーにより具体的に中央に伝え、労働環境改善と支部活動の活性化に注力します。



加古川支部・デイリー食品M

**内山 聡**

地域の組合員の皆さんと一緒に、笑顔あふれる職場になるように一支部一組合を目指していきます。



専従

**宇野 典孝**

変化する環境の中、基本の考えを大切に「考動力と機動力」を発揮し、「一支部一組合」の確立ができるよう取り組みます。



営業・管理支部・RE・VMD部M

**大嶋 光幸**

新常态時代に対応した一支部一組合の確立で、IY再生、ワーク・ライフ・バランス実現ができるよう頑張りましょう。



柳津支部・デイリー食品M

**大西 宏司**

活動の原点「コミュニケーションの充実」を常に考え地域の組合員の皆さんと共に考え行動し頑張ります。



アリオ柏支部・ホーム&キッチンM

**大橋 憲二**

予測出来ない環境変化が起こる中、皆様とのコミュニケーションを図り一支部一組合の確立を目指して活動に取り組めます。



専従

**大場 ももこ**

大きく環境変化が続く中、基本は大切に多様な視点で「一支部一組合」一人ひとりの声を聞き、新たなIY/組合づくりを目指し、活動をしていきます。



営業・管理支部・販売事業部

**鬼沢 克彦**

「一支部一組合」を確立させる為に組合員一人ひとりの声を聞き、新たなIY/組合づくりを目指し、活動をしていきます。



日立支部・子供ワールドM

**岸田 康史**

新しい環境に合わせて知恵を絞り、「一支部一組合」の確立に向けて各支部の皆さんが活動しやすいう環境づくりに努めます。



武蔵境支部・子供ワールドM

**小松原 勇二**

一支部一組合の強化に向けて組合員一人ひとりの声を集約し活動へ反映できるように取り組んでいきます。



深谷支部・デイリー食品M

**小室 渚人**

組合活動も新時代に合わせて変化が必要な時代だと思います。皆さんの声を聞き、新しい組織を作りたいと思います。

中央会計監査



専門店会事務局マネジャー

**下田 広志**



セブカルチャーネットワークマネジャー

**鷹屋敷 一久**